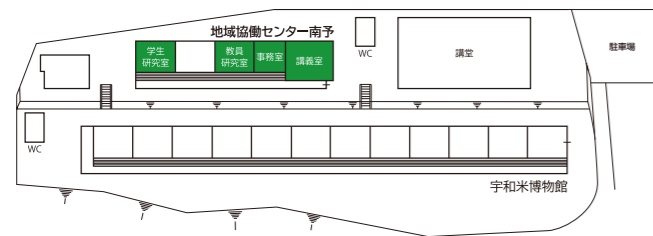


地域協働センター南予教員一覧 (令和7年12月1日現在)

役職	氏名	現所属・職名	専門分野
センター長	松村 暢彦	社会共創学部・教授	土木計画学、教育工学、防災計画
副センター長	笠松 浩樹	社会共創学部・准教授	地域環境工学、農村計画学
副センター長	大本 敬久	地域協働推進機構・特定准教授	民俗学、日本文化論
兼任	石坂 晋哉	法文学部・教授	アジア地域研究、社会学
兼任	藤田 昌子	教育学部・教授	家庭科教育、生活経営学
兼任	吉村 直道	教育学部・教授	数学教育学(算数を含む)、初等中等教育学
兼任	大西 義浩	教育学部・教授	科学教育、ものづくり技術
兼任	井上 昌善	教育学部・准教授	主権者教育、社会科教育
兼任	羽鳥 剛史	社会共創学部・教授	土木計画学、交通工学
兼任	山中 亮	社会共創学部・准教授	スポーツデータ分析、スポーツ社会学
兼任	渡邊 敬逸	社会共創学部・准教授	地理学
兼任	片岡 由香	社会共創学部・講師	景観工学、都市計画
兼任	徳岡 良則	社会共創学部・助教	植物生態学
兼任	堀 利栄	理工学研究科(理)・教授	地質学、層位・古生物学
兼任	川本 龍一	医学系研究科・教授	地域医療学
兼任	三宅 吉博	医学系研究科・教授	疫学、公衆衛生学
兼任	森脇 亮	理工学研究科(工)・教授	社会基盤(土木・環境・防災)
兼任	三宅 洋	理工学研究科(工)・教授	河川生態学、生物多様性保全
兼任	倉内 慎也	理工学研究科(工)・准教授	交通計画
兼任	白柳 洋俊	理工学研究科(工)・准教授	景観工学
兼任	小林 範之	農学研究科・教授	農業土木学
兼任	渡邊 誠也	農学研究科・教授	生化学、基礎食品科学
兼任	山本 和博	農学研究科・教授	農業経営学
兼任	間々田理彦	農学研究科・准教授	地域資源管理
兼任	若林 良和	南予水産研究センター・特命教授	水産社会学、カツオ産業文化
兼任	竹ノ内徳人	南予水産研究センター・教授	水産経済学、水産経営学
兼任	福垣内 暁	紙産業イノベーションセンター・准教授	無機材料化学
兼任	島上 宗子	国際連携推進機構・教授	東南アジア地域研究



地域協働センター南予 入口



J R 利用

JR松山駅から宇和島方面の特急列車へ乗車してJR卯之町駅下車 徒歩10分

自動車利用

松山自動車道 西予宇和ICより車で8分 (国道56号野田口交差点を右折)

REGIONAL COOPERATION CENTER IN NANYO

南予地域の活性化を
公・民・学の協働で実現！



愛媛大学地域協働センター南予

リボン南予！ 愛媛大学は9市町とともに 動きます



センター長 松村 暢彦

南予地域は、創意工夫によって地域に必要な公的サービスを実現してきた歴史があります。また、地域活力を創出する住民、民間企業が数多く育ちつつあります。さらに、愛媛大学は7学部に加えて南予地域と関係が深い南予水産研究センター、防災情報研究センター、柑橘産業イノベーションセンター等を有し、多様な分野の専門知識、技術の蓄積があります。地域協働センター南予は、これらの「公」「民」「学」の協働をすすめることによって、南予地域の活性化を実現します。

本センターの兼任教員は、これまで南予地域でユニークな研究、教育、社会貢献活動をしてきた者から構成されています。これらの兼任教員を中心として専門分野間の連携を進めていき、より先進的な研究、フィールドワーク教育、社会人リカレント教育プログラムなどを皆様方と一緒に実現していきたいと思っています。また、本センターは南予9市町のステークホルダーとともに運営していく点に特徴があります。南予の地域間連携を深めることによって、南予地域全体の活性化に貢献できるよう、皆様方とともに邁進していきます。

[地域協働センター南予の活動ビジョン]

公・民・学協働による先進的な教育活動、研究活動の実践を通して、南予地域の地域課題の解決と活性化を促進します。

[活動内容]

1 社会人教育プログラムによる 人材育成

南予地域の地域活性化の中心的な役割を担う人材の育成とネットワーク化（大学教員と住民・市町職員・NPO・高校生等）をすすめ、南予9市町との協働のもと「地域創生イノベーター育成プログラム（南予）」を実施します。

2 学部・大学院の 教育活動の促進

大学・大学院の授業で南予地域をフィールドに活用することにより受講生の南予地域への関心・興味を高めます。

3 地域のステークホルダーと 協働した研究活動の活性化

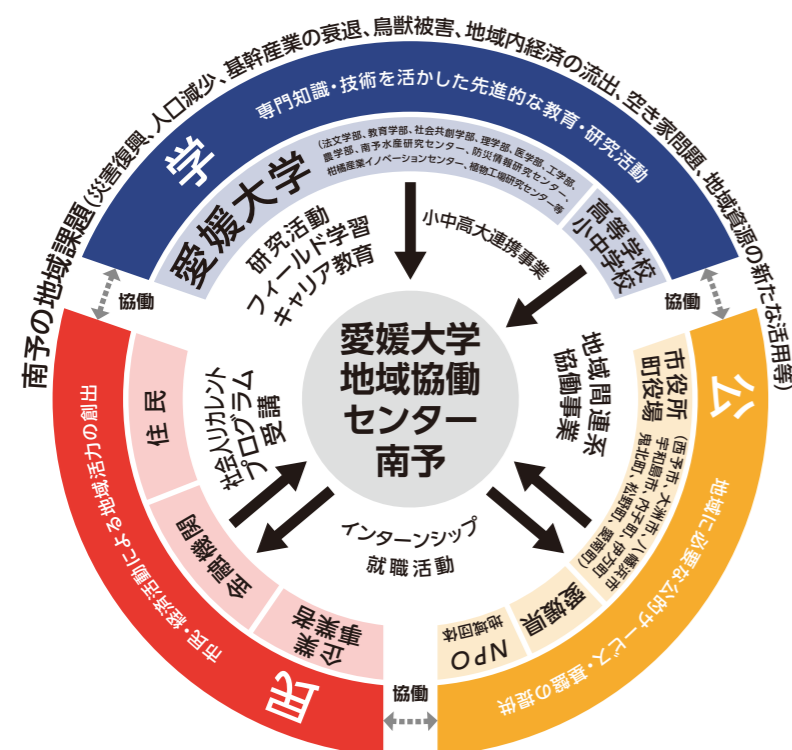
南予地域の地域課題を兼任教員と市町との協働研究活動を通じて課題解決をはかります。

4 小中高等学校での 教育活動の促進

南予地域の小・中・高等学校生を対象に大学の人的資源を活用することで南予地域・学問への関心・興味を高めます。

5 地域のステークホルダーと 協働した公開講座

住民等に兼任教員の研究・教育活動の情報提供を進めることで地域と協働した活動を促進します。



南予地域は人口減少、基幹産業の衰退、鳥獣被害、地域内経済の流出、空き家問題、地域資源の新たな活用などの地域課題を抱えています。これらの課題の解決のために、より一層、公・民・学の機能連携を進めていく必要があります。愛媛大学地域協働センター南予は、地域間連携協働事業などを通じて、「学」がもつ専門的知識・技術の分野間連携を進め、先進的な研究活動やフィールド学習、キャリア教育、小中高大連携などを実施します。また、地域活力の創出のために、社会人リカレント教育プログラムを提供するとともに、南予地域のインターンシップや就職活動を促進します。

地域協働センター南予の活動（一例）



宇和高中生による「車いす」まち歩きと
課題解決ワークショップ
(令和6年度 西予市)



内子町内の祭り・芸能等の保存団体による
継承研修会
(令和6年度 内子町)



農業遺産「南予柑橘農業システム」の
市民ガイド養成講座
(令和7年度 南予各地)



愛媛大生対象「南予まちづくり学」での
南予の歴史文化学習
(令和6年度 西予市)



南海トラフ地震・津波に備えた市民対象の
避難まち歩き
(令和6年度 八幡浜市)



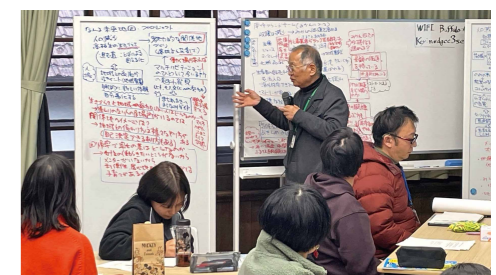
南予9自治体共催で南予フォーラム
「人口減少社会と南予地方の未来」開催
(令和7年度 宇和島市)

[社会人プログラム] 地域創生イノベーター育成プログラム(南予)

愛媛大学地域協働センター南予では、社会人リカレント教育として履修証明プログラム「愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム（南予）」を開講しています。このプログラムは、①愛媛県及び南予地域を例としてわが国の「地方、地域」の現状や課題に対する深い理解、②課題解決のためのさまざまな分野からのアプローチ方法の知識理解と技術修得、③具体的な課題の解決方法を提案するまでのプロセスの経験を通して、わが国の国策として強く謳われている「地方創生」に貢献できる人材に必要な知識・素養や技術を修得することを目的としています。地域に関する新たな課題に直面したとき、身に付けた課題解決方法と課題解決体験によって、その課題を解決に導くことができ、「地域創生イノベーター」として地域活性化に貢献できる人材をめざします。修了要件を満たすと、学長名の「履修証明書」が交付され、「愛媛大学地域創生イノベーター（南予）」の名称が付与されます。

募集期間：毎年6月頃 定員：25名程度
開講期間：毎年7～2月頃 全60時間

※受講希望の方は地域協働センター南予のHPをご確認ください。



地域協働センター南予講義室の様子